

日本学術会議地域研究委員会
地域学分科会
(第 25 期 第 5 回) 議事要旨

日時：2021 年 11 月 20 日 9:30～12:00

会場：ビデオ会議にて開催

出席者：小長谷有紀、矢野桂司、井口梓、池口明子、岩瀬峰代、岡橋秀典、小林知、
近藤章夫、田原裕子、中澤高志、増田聡、水内俊雄、宮町良広、山川充夫、
山崎孝史、吉田道代、佐無田光 (いずれも名簿順、敬称略)

議事概要

1. 前回 (第 25 期第 4 回分科会) 議事録確認
宮町委員長より、第 25 期第 4 回分科会の議事録の説明があり、承認された。
2. 報告
 - 1) 井口 梓 連携会員 (愛媛大学社会共創学部准教授)
「地域学の実践と課題 ―地域系大学での教育実践を事例に一」
井口会員より、集落の縮退に直面した愛媛県内子町臼杵地区の自治会と愛媛大学社会共創学部の協働の事例、および縮退期あるいは無住化した集落を対象とする「市民の地域学」の重要性に関する報告がなされた。
 - 2) 岩瀬峰代 連携会員 (島根大学教育開発センター准教授)
「地域学における学びと学びの評価」
岩瀬会員より、知識の習得だけでなく、経験の中に教育的要素を見いだす地域学のフィールド教育における学びの特徴とその評価に関して、教育理論にもとづく問題の整理と島根大学における取り組みとその評価の事例が報告された。
 - 3) 田原裕子 (國學院大學経済学部教授)
「コロナ禍のもとでの渋谷再開発」
田原会員より、首都圏における地域学の事例として、大規模な再開発により東京を代表するビジネス拠点となった渋谷が、コロナ禍における経済的変動のなか、圏内の他の拠点との競争を視野にさらに進めるまちづくり計画の概要が報告された。
3. 今後の分科会の予定について
宮町委員長より、第 6 回分科会を 2022 年 5 月に実施することが提案され、承認された。